

目次

最新情報.....	1
V1.10 へのアップデートの方法	1
新機能.....	2
V1.10 の新機能.....	2
メンテナンスの項目.....	3
V1.10 におけるメンテナンス項目.....	3
既知の不具合.....	4
V1.10 の既知の不具合.....	4
その他の項目	5

最新情報

本機のドライバソフトウェアおよび本体のファームウェアは、常に最新版をお使いいただきますようお願いいたします。最新のソフトウェアとファームウェアに関しては、タスカムウェブサイト：<http://www.tascam.jp> にてご確認ください。

V1.10 へのアップデート方法

ファームウェアをアップデートする前には V1.10 ドライバーをインストールしておかなければなりません。

Mac Driver 1.10

タスカムウェブサイトからインストーラーを含む IF-FW/DMmkII のアップデーターファイルをダウンロードし、このファイルをダブルクリックして中身を開きます。中に存在する IFFWDMmkII_Installer.pkg をダブルクリックして画面上の指示に従ってください。ドライバーをインストールするにはコンピュータ管理者のパスワードが必要になります。ここでは、ライセンスファイルと ReadMe ファイルも表示されます。

Windows Driver 1.10

タスカムウェブサイトからインストーラー (IFFWDMmkII_Installer_V110.exe) の入っているファイルをダウンロードし、ファイルをダブルクリックして起動します。インストールの手順は取扱説明書に記載されている V1.00 用のものと同じです。

Firmware

V1.10 のファームウェアは V1.10 のドライバーとともにリリースされています。このバージョンではオーディオ接続が失われた場合に、復帰のためにハードウェアの再起動が必要であった既知の問題を解決しています。ファームウェアをアップデートする前には DM-3200/4800 と IF-FW/DMmkII を装着してから電源を入れ、コンピュータとミキサーをファイヤーワイヤーケーブルで接続しておかなければなりません。

● Mac Firmware Updater 1.10

ドライバーをインストール後、タスカムウェブサイトから FirmwareUpdater_1.10.dmg ファイルをダウンロードしてダブルクリックし、ファームウェアをアップデートするために画面上の指示に従ってください。

● Windows Firmware Updater 1.10

FirmwareUpdater_1.10.exe ファイルをダウンロードし起動後、画面上の指示に従ってください。



新機能

このセクションでは IF-FW/DMmkII ドライバーとファームウェアの個々の改訂版の新機能について記載しています。

V1.10 の新機能

Windows Driver

● Windows への対応

このバージョンにて下記の OS をサポートしました。

Windows XP 32 ビット、Service Pack 3

Windows XP 64 ビット、Service Pack 2

Windows Vista 32 ビット、Service Pack 1

Windows Vista 64 ビット、Service Pack 1

全てのコンピューターや DAW での動作確認を行っているわけではないので、コンピューターの環境や DAW によっては、正常に動作しない場合があります。

特に、Windows XP/Vista 64 ビットをご使用の場合は 動作確認のコンピューターの環境及び DAW に関しての詳細はタスカムカスタマーサポートにお問い合わせ下さい。

● DPC Spike Checker (Windows 用)

32 bit Windows 環境で安定した動作を得るために DPC Spike Checker を実行してください。

「DPC スパイク」というのは、IF-FW/DM mkII ドライバーの正常な動作に影響をおよぼすシステム内の遅れです。グラフィックカードや無線ネットワーク用のドライバーは特に大きい遅れを起こしやすいとされています。遅れの起きている頻度は数分に一個程度であってもオーディオ転送に影響し、音切れや、その他の音に関係する問題の原因となります。

システム内に異常な DPC スパイクがあるかどうかを確認するために DPC Spike Checker があらたに加えられました。

このアプリケーションは Windows XP (32 ビット) , Windows Vista (32 ビット) でのみ動作可能です。

このアプリケーションをスタートさせ (スタート->すべてのプログラム->TASCAM->IFFWDM mkII->DPC Spike Checker)、通常通りコンピューターでオーディオを扱いながら動作させます。数分後、スパイクがあったかを確認してください。IF-FW/DMmkII コントロールパネルのプルダウンメニューの Performance Mode で推奨値も表示されます。

メモ

DPC Spike Checker ツールは、システムがスタンバイあるいは休止状態におかれている時に動作している場合、無効な DPC latency 値を報告します。この場合はツールを閉じ、再スタートさせてください。

● Performance Mode

コントロールパネルには新たに Performance Mode というプルダウンメニューが追加され、以下の 4 つの設定項目があります。DPC Spike Checker の推奨設定を選択してください。

1. Normal
2. Safe Mode Level 1
3. Safe Mode Level 2
4. Safe Mode Level 3

個々のレベルには異なる遅延量があり、CPU の負荷による音切れを防ぐことができます。



もし大きなスパイクが検出された場合はグラフィックやネットワークデバイスのドライバーをを更新することで改善できることもあります。もし、Safe Mode の設定による Latency の追加が許されない場合、システムを見直す必要があります。

Mac OS X Driver

● Mac OS X への対応

このバージョンにて Mac OS X Leopard (10.5.2) をサポートしました。

メンテナンス項目

このセクションでは IF-FW/DMmkII ドライバーとファームウェアの改訂ごとのメンテナンス項目を記載しています。

V1.10 におけるメンテナンス項目

Firmware

このバージョンでは、オーディオの接続が切れた場合に電源再投入以外の回復方法が無かった不具合を修正しました。

Windows Driver

- **Latency**

V1.10 ではチャンネル 1-16 とチャンネル 17-32 の間にときどき違った遅れが生じ、ミキサーとコンピューターが再びロックした場合、トータルでの遅れが多少変化することがありました。V1.10 ではすべてのチャンネルで同一の固定遅延になっています。

- **コントロールパネル**

Windows Control Panel が V1.00 のものから変更されています。

- もし WDM または ASIO クライアントが現在 IF-FW/DMmkII を使用している場合、Buffer Size, Performance Mode, WDM Channel Mapping の設定が選択不可能にされ、コントロールがグレイアウトになります。これらの設定を変更する場合はあらかじめすべてのオーディオアプリケーションを閉じてください。
- V1.10 では WDM の入力チャンネルマッピングを削除しました。
- V1.10 ではユーザーが間違ったバッファサイズを選択できないように修正しました。

Mac OS X Driver

- **Latency**

V1.10 ではチャンネル 1-16 とチャンネル 17-32 の間にときどき違った遅れが生じ、ミキサーとコンピューターが再びロックした場合、トータルでの遅れが多少変化することがありました。V1.10 ではすべてのチャンネルで同一の固定遅延になっています。

- **G5 への対応**

Power PC G5 上では入出力にときどきノイズが生ずることがありましたが、これが修正されました。

- **FireWire**

FireWire ケーブルを外すとき、あるいは FireWire 接続が切れたとき、接続を回復するためにミキサーの電源を一度切り、入れ直す必要が時々ありましたが、これが修正されました。

- **ラージメモリーシステム**

ラージメモリーシステムの問題が修正されました。2GB を越える RAM 環境での動作が安定しました。

- **安定性**

総合的な安定性が改善されました。

既知の不具合

このセクションでは最新の IF-FW/DMmkII ドライバーの既知の不具合を記載しています。

V1.10 の既知の不具合

Windows Driver

- **コントロールパネル**

WDM オーディオインターフェースを使用しているアプリケーションを閉じる場合、コントロールパネルはときどきロックしたままの状態になり、バッファサイズや Performance Mode を変えることができなくなってしまう。このような場合にコントロールを復帰させるには FireWire ケーブルを一度外し、再度接続してください。

- **DAW パフォーマンス**

Sonar で使用する場合、Windows パソコンの環境によっては能力が低下します。

- **Windows XP Service Pack 2**

Windows XP (32-bit) Service Pack 2 にアップグレードすると FireWire 800 のポートが FireWire 100 のスピードに設定されることで、IF-FW/DMmkII の正常な同期状態でのオーディオ伝送を妨げる場合があります。解決方法は <http://support.microsoft.com/kb/885222> を参照してください。

- **Windows XP Service Pack 3**

Windows XP (32-bit) Service Pack 3 にアップグレードすると FireWire 800 のポートが FireWire 100 のスピードに設定されることで、IF-FW/DMmkII の正常な同期状態でのオーディオ伝送を妨げる場合があります。解決方法は <http://support.microsoft.com/kb/955408> を参照してください。

- **Boot Camp**

ベータ版のアップル Boot Camp(ある特定のアップルの Mac ハードウェアに Windows の OS をインストールすることができるドライバーのセット)には FireWire チップセットドライバーがありますが、IF-FW/DMmkII Windows ドライバーとは互換性がありません。OS X Leopard 以降の Boot Camp は Mac のいくつかの機種では動作しますが、これらの環境はサポートしていません。

- **Direct WDM**

V1.10 では Direct Input および Direct Output WDM コンフィグレーションモードは削除されました。

Sonar のユーザーは WDM を使った IF-FW/DMmkII の 32ch 同時使用を避け、ASIO IF-FW/DMmkII インターフェースを選択してください。

- **WASAPI**

Windows Vista 用 WASAPI はこのバージョンでは完全にはサポートされていません。

Mac Driver

- **Cubase**

Cubase 4 を Mac OS X 上で使用している時に、ミキサーからサンプルレートを変えると Cubase への入力信号がミュートされることがあります。もしこれが起こった場合には入力信号を復帰させるため、Cubase を一度閉じてから再スタートしてください。

Windows and Mac

- **VST System Link**

Cubase 4 の VST System Link 機能およびその他のアプリケーションは DAW の予期せぬチャンネル割当が生じることがあります。もし期待するチャンネルに音が現れない場合にはこれらの設定を確認してください。

互換性のない FireWire チップセット

互換性のない FireWire チップセットの症状は、コントロールパネル中のオーディオドロップアウトナンバーがシステム・アイドル状態でも際限なく増加する、プラグインされていてもカードを認識しない、デバイスがロックしない、またはドロップアウトです。チップセットによって、マザーボード構成との相互作用があります。あるチップセットでは、チャンネル数を減らすか、または FS を下げることで安定して動く場合があります。

その他の項目

Windows Vista

DAW 向けに Windows Vista を設定するためのヒントは以下の通りです。

- Aero (エアロ) ※ 1 を使用しないで「パフォーマンスを優先する」※ 2 を選択する。
- パワーセービングモードの代わりに Performance モードを選択する。
- BIOS レベルでの不要な周辺機器を使わない。
- ファン速度、バッテリー、そして温度モニターなどのアドオンを使わない。
- Backgrounds と Applications の優先づけをする。シングルコアまたは Hyper-threaded CPU を使用している場合は Background のみを選択する。Applications はマルチコア CPU のための最適な設定です。
- ハードドライブが PIO ではなく転送用に DMA モードを使用していることを再確認してください。
- AGP ビデオカードをお持ちの場合、FireWire カードが最大のバス時間を与えられるように PCI を調べ、調整してください。多くのビデオカードは不適切な優先度を持つように初期設定されています。これは PCI-Express ビデオカードの問題ではありません。

※ 1 Aero (エアロ) の設定は画面設定の「個人設定」>「デザインの設定」>「配色」から「Windows Vista ベーシック」など、「Windows Aero」以外の項目を選択します。

※ 2 「システムのプロパティ」：「詳細設定」>「パフォーマンス」：「パフォーマンス設定」>「パフォーマンスを優先する」を選択します。